

平成 28 年 3 月 16 日

【照会先】

大臣官房統計情報部

人口動態・保健社会統計課 保健統計室

室 長 岩崎 容子

室長補佐 渡 三佳

受療行動統計係

(代表電話) 03 (5253) 1111 (内線 7518)

(直通電話) 03 (3595) 2958

## 平成 26 年受療行動調査（確定数）の概況

### 目 次

調査の概要 .....	1 頁
<b>結果の概要</b>	
1 病院を選んだ理由 .....	4
2 予約の状況、診察等までの待ち時間、診察時間（外来患者のみ） .....	4
3 来院の目的、診察・治療・検査などの内容（外来患者のみ） .....	8
4 緊急入院・予定入院、入院までの期間、 入院までに時間がかかった理由（入院患者のみ） .....	10
5 自覚症状（外来患者のみ） .....	11
6 医師からの説明の有無、程度、説明に対する疑問や意見 .....	14
7 入院の有無、外来の受診頻度（外来患者のみ） .....	14
8 退院の許可が出た場合の自宅療養の見通し（入院患者のみ） .....	15
9 満足度 .....	18
統計表 .....	23

平成 26 年受療行動調査の概況は、厚生労働省のホームページにも掲載しています。  
ホームページアドレス（ <http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/34-17.html> ）

# 調査の概要

## 1 調査の目的

全国の医療施設を利用する患者について、受療の状況や受けた医療に対する満足度等を調査することにより、患者の医療に対する認識や行動を明らかにし、今後の医療行政の基礎資料を得ることを目的とする。

## 2 調査対象及び客体

全国の一般病院を利用する患者（外来・入院）を対象として、層化無作為抽出した一般病院を利用する患者を調査の客体とした。

ただし、外来患者については、通常の外來診療時間内に来院した患者を調査の客体とし、往診、訪問診療等を受けている在宅患者は調査対象から除いた。

## 3 調査の期日

平成26年10月21日(火)～23日(木)の3日間のうち医療施設ごとに指定した1日。

## 4 調査事項

### 外来患者票

診察等までの待ち時間、診察時間、来院の目的、診察・治療・検査などの内容、初めて医師に診てもらったときの自覚症状、医師から受けた説明の程度、病院を選んだ理由、入院の有無、外来の受診頻度、満足度 等

### 入院患者票

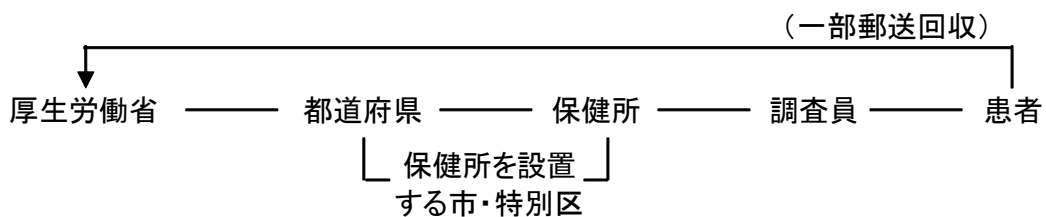
病院を選んだ理由、緊急入院・予定入院、入院までの期間、医師から受けた説明の程度、今後の治療・療養の希望、満足度 等

## 5 調査の方法

患者への調査票の配布は、外来患者票、入院患者票ともに医療施設において調査員が行った。記入は、原則として患者本人の記入方式としたが、記入できない場合については、家族の方などが補助して記入した。

調査票は、患者が提出用封筒に密封し、医療施設において調査員が回収した。なお、郵送による提出も可とした。

## 6 調査の系統



## 7 集計及び結果の公表

集計は厚生労働省大臣官房統計情報部において行った。

<p>平成 26 年受療行動調査（概数）の概況 数 値：<u>概数</u> （病院報告（平成 26 年 10 月分概数）の外来患者延数と在院患者数を用いて全国推計を行ったもの）</p> <p>掲載内容：基本集計 （受療行動調査の調査項目のみで集計したもの）</p>	<p>平成 26 年受療行動調査（確定数）の概況 数 値：<u>確定数</u> （平成 26 年医療施設静態調査の外来患者延数と在院患者数及び平成 26 年患者調査の外来患者、入院患者の年齢構成を用いて全国推計を行ったもの）</p> <p>掲載内容：基本集計 （平成 26 年医療施設静態調査とデータ・リンケージを行った上で集計したもの）</p> <p>掲載内容：関連集計 （平成 26 年医療施設静態調査及び平成 26 年患者調査とデータ・リンケージを行った上で集計したもの）</p>
--	---

なお、病院の表章区分は以下のとおりとした。

- ・ 特定機能病院……………医療法第 4 条の 2 に規定する特定機能病院として厚生労働大臣の承認を得ている病院
- ・ 大病院……………特定機能病院、療養病床を有する病院を除いた一般病院で、病床規模が 500 床以上の病院
- ・ 中病院……………特定機能病院、療養病床を有する病院を除いた一般病院で、病床規模が 100 床～499 床の病院
- ・ 小病院……………特定機能病院、療養病床を有する病院を除いた一般病院で、病床規模が 20 床～99 床の病院
- ・ 療養病床を有する病院……医療法第 7 条第 2 項第 4 号に規定する病院の病床であって、主として長期にわたり療養を必要とする患者を入院させるための病床を有する病院

集計（基本集計、関連集計）に用いた有効回答数の状況及び調査実施施設数は次のとおりであった。

（1）基本集計（平成 26 年受療行動調査と平成 26 年医療施設静態調査の調査票情報を利用してデータの結合（データ・リンケージ）を行った上、調査項目を集計）

### ◆調査票配布数、回収数、有効回答数

	調査票配布数 (A)	回収数 (B)	回収率(%) (B)/(A)	有効回答数
総 数	195,155	154,456	79.1	152,988
外 来	128,020	100,652	78.6	99,690
入 院	67,135	53,804	80.1	53,298

### ◆病院の種類別調査実施施設数、有効回答数

	施設数	有効回答数	有効回答数	
			外来	入院
総 数	488	152,988	99,690	53,298
特 定 機 能 病 院	35	39,649	24,472	15,177
大 病 院	69	51,282	32,875	18,407
中 病 院	144	38,237	25,643	12,594
小 病 院	117	11,314	8,932	2,382
療養病床を有する病院	123	12,506	7,768	4,738

- (2) 関連集計（平成 26 年受療行動調査と平成 26 年医療施設静態調査及び平成 26 年患者調査の調査票情報を利用して、データの結合（データ・リンケージ）が可能であった調査票のみを用いて調査項目を集計）

◆データの結合（データ・リンケージ）が可能であった客体数

	客 体 数
総 数	51,362
外 来	31,996
入 院	19,366

## 8 利用上の注意

- (1) 計数の無い場合は「-」で表している。  
 (2) 表章すべき最下位の桁の1に達しない場合は「0.0」で表している。  
 (3) 概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が総数と一致しない場合がある。  
 (4) **追加** と記載のある図表は、本概況において新たに追加掲載したものである。  
 (5) 基本集計と関連集計では、同様の表章項目がある場合でも客体数の違いにより、同じ数値にならない場合がある。  
 (6) 関連集計によって作成した表については、下記のように示した。

例

関連集計 (患者調査)	○ ○ ○ ○
----------------	---------

データの結合（データ・リンケージ）の上、集計した調査項目

- (7) 平成 23 年は、東日本大震災の影響により、岩手県、宮城県及び福島県については調査を実施しておらず、数値はこれら 3 県分を除いたものとなっている。